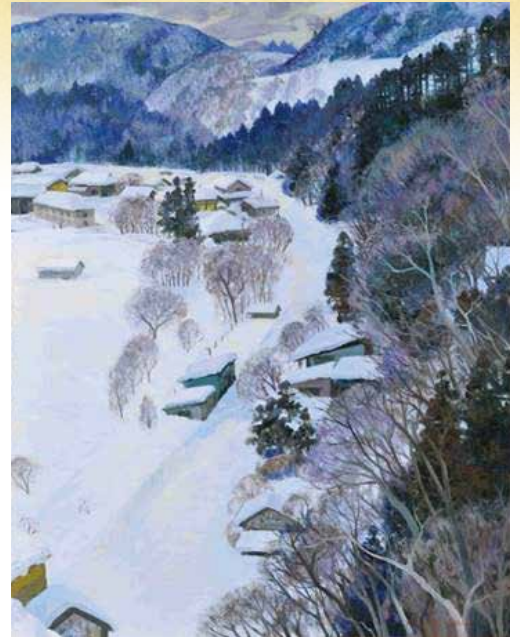


ぬ し しょう いち ろう

塗師祥一郎寄贈作品展



荒川風景



山麓

真っ白な雪の風景画で知られる、日本を代表する洋画家・塗師祥一郎。自然への深い洞察と愛情、そこに暮らす人々への温かい眼差しが感じられる数多くの作品を残しました。

寄贈された大作を中心に、川口の風景を描いた作品など、修業時代から晩年までの集大成ともいえる作品展です。

この機会にぜひ、日本の風土の美しさを描き続けた塗師作品の魅力をご堪能ください。

日時

1月5日(土)～12日(土)
10:00～20:00(最終日は19:00まで)

場所

リリア1階展示ホール

入場無料

プロローグ



女性像Y

生い立ちや修業時代までの作品。画家としての出発点を感じることができます。

雪景色に込めた自然と生命への愛



北の町



待春の水辺

代表作となる雪景色の作品。雪国の厳しい冬がさまざまなタッチにより表現され、一つひとつが違う雪景色を堪能できます。

川口風景へのまなざし



西福寺

市内各所をモチーフに描かれた作品。四季折々の川口を鑑賞できます。

◆アトリエ再現



実際に使用していた道具などを配置し、生前のアトリエを再現します。

◆記念講演

1月6日(日)13:00～

講師：建畠 哲氏
(たてはた あきら 埼玉県立近代美術館長)

◆公募による「川口の風景」絵画20点と、「紫の会」による俳句24点を併せて展示します。

問い合わせ…文化推進室 ☎048-258-1116 FAX048-251-9545